

眼窩壁骨折クリニカルパス(入院日手術)

様

No.1

入院日（手術当日）		手術後1日目		手術後2～5日目		退院日		
観察		体温・血圧・脈拍を測ります（1日1回・手術日は手術前後） 痛み、複視（物が重なって見える）、充血、腫れ、出血（血の混じった涙）吐き気、顔の知覚麻痺など症状の観察を行います。 ちょっとした変化でも医師、看護師にお知らせください。						
食事		手術が午前の場合：手術前日21時まで食事可。手術当日7時まで 飲水はできます（お茶・水・スポーツ飲料） 手術が12時（12時含む）～15時の場合：手術前日21時まで食事可 手術当日9時まで飲水はできます（お茶・水・スポーツ飲料） 手術が15時以降（15時含む）：手術当日8時まで食事可 手術当日12時まで飲水はできます（お茶・水・スポーツ飲料） 手術後3時間したら看護師がお腹の音を確認後、飲水ができます その1時間後に食事ができます。（召し上がる方はご自分でご用意ください）		 普通食または治療食				
清潔		入浴はできません 化粧はあらかじめ落としましょう マニキュアはとってください、爪は短く切りましょう		入浴・シャンプーをすることができます ＊下を長時間向いてると創部がうっ血するため、上向きで頭を洗いましょう （眼帯があたっている場合は介助下でのシャンプーとなります） 				
排泄		手術後はトイレまで歩行ができます（最初のトイレは看護師が付き添います） トイレ以外はなるべく安静にしましょう（夜間など必要時は看護師を呼んでください） 		トイレまで歩行ができます ＊見えにくさがある方は注意して動きましょう 				
診察		毎朝診察があります。						
処置		帰室後から術部をクーリングし、頭を高くしてください		創部の消毒、血抜きの管が入っている方は診察の様子で管を抜きます				
リハビリ				眼の見える範囲を広げる運動を始めます（追視運動）		（2日目） 眼の動きをスムーズにする運動を始めます（振り子運動）		
検査				手術の結果、合併症の有無を調べるため 眼窩調CT検査を行います 外来で眼科検査があります		（4日目）外来で眼科検査があります		
薬物療法	点滴	手術中に点滴が始まります、抗生物質の点滴を行います ＊手術時間が遅い方や、糖尿病の方は手術前に点滴をすることがあります ＊点滴終了後痛みや吐き気がなければ針を抜きます						
	内服薬	常用薬を看護師が確認します ＊入院中の分は持参してください ＊中止する薬があればお知らせします 手術後に痛み、吐き気、発熱がある場合は薬を使用できます		抗生物質、胃薬を食後に飲みましょう（3日間） （朝、看護師が渡します） 				
説明指導 退院計画		看護師から手術の時間、食事についての説明があります 手術同意書の確認をします 入院診療計画書をお渡しします スリッパでは滑りやすいため、靴を履きましょう 手術は ： ごろの予定です 手術室までは歩いていきます、帰りはベットで戻ります 手術室へ行く前にトイレと着替えをすませ、両腕を洗い、歯磨きをしましょう 着替える服は看護師がおもちします、ネームバンドの確認をさせていただきます 片目での生活のため注意してください（階段の使用は避けましょう、また必要時は ベッド柵を使用しましょう）		追視運動の説明をします 薬剤師から薬の説明があります （手術後1日目または2日目）  治療食の方は栄養指導がある場合もあります		（2日目）振り子運動の説明をします （3日目）看護師から退院後の生活について説明があります		次回外来について診察時説明します 診察券と次回の予約券を渡します
目標		入院中の予定がわかり、手術後の注意事項がわかる 手術の準備ができる 手術の後、鼻をかまない、力まないことを理解できる（術前～最低1ヶ月まで）  転倒・転落なく入院生活を送ることができる （ベッドの周りを片付け、ベッドの高さは一番低くしましょう） 痛みがある時は我慢せずに、痛みの部位やどんな痛みであるかを医療者へ伝えることができる （痛みの程度は数字の0から10「0:痛みなし、10:すごく痛い」で伝えましょう） 術後感染に注意することができる（傷を触らない、手洗いをし、手を清潔にする、傷が痛い時や 赤く腫れている時には、医療者に伝える、処方された薬をきちんと飲む）		追視運動を行うことができる 入浴時に長時間うつむきで頭を洗ってはいけないことがわかる		振り子運動ができる 退院後の生活の注意点がわかる 		

※症状経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2002年3月作成(2021年6月改訂)パス委員会承認 聖隷浜松病院 B4病棟